

堺市歴史的風致維持向上計画 素案（概要版）

1. 堺市の歴史的風致の成り立ちと構成

○南部の丘陵地から海へと向かって緩やかに変化する地帯構造が市街地の形成に大きく影響

- ・海を通じて広く世界へと繋がる流通往来の拠点
- ・複数の街道が結節する陸路の流通往来の拠点

⇒人・物・情報が集まり、各時代に新しい文化を形成

+

- ・茶の湯、鉄砲製造など各時代に新しい文化を取り入れ、人々により洗練されてきた活動
- ・だんじりやふとん太鼓などの地域の祭礼など

↓

各時代の歴史背景に影響された多様な市街地特性



■市域における歴史的風致の定義

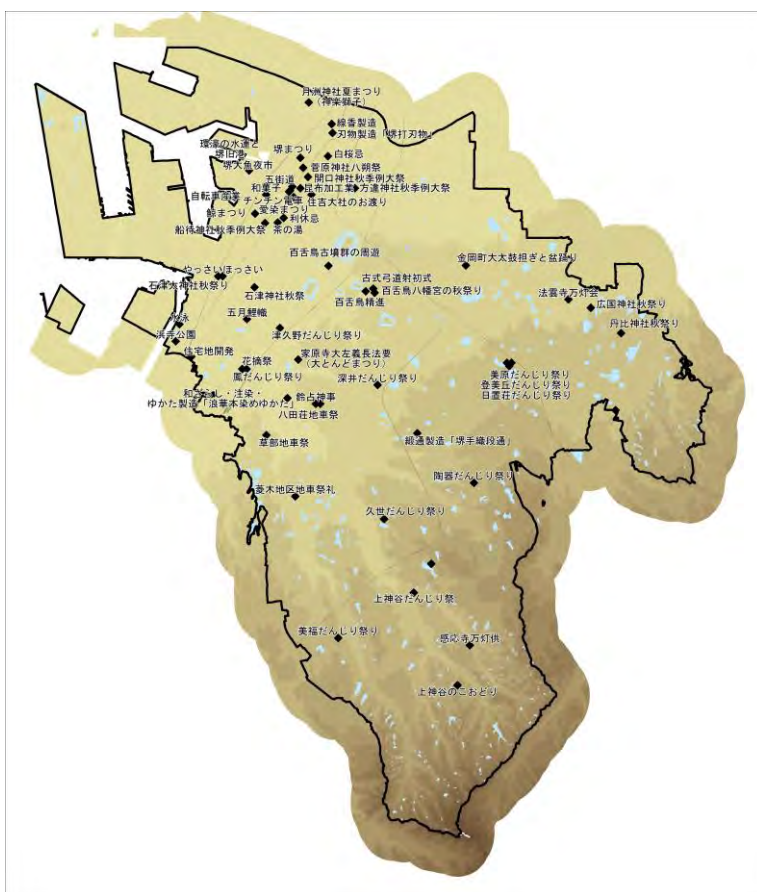
①地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動（ソフト）

指定等文化財：無形民俗文化財(上神谷のこおどり)
 指定等以外の文化財：住吉大社のお渡り、だんじり・ふとん太鼓等の祭礼、堺打刃物や線香などの伝統産業、近代以降の海濱行楽、茶の湯など

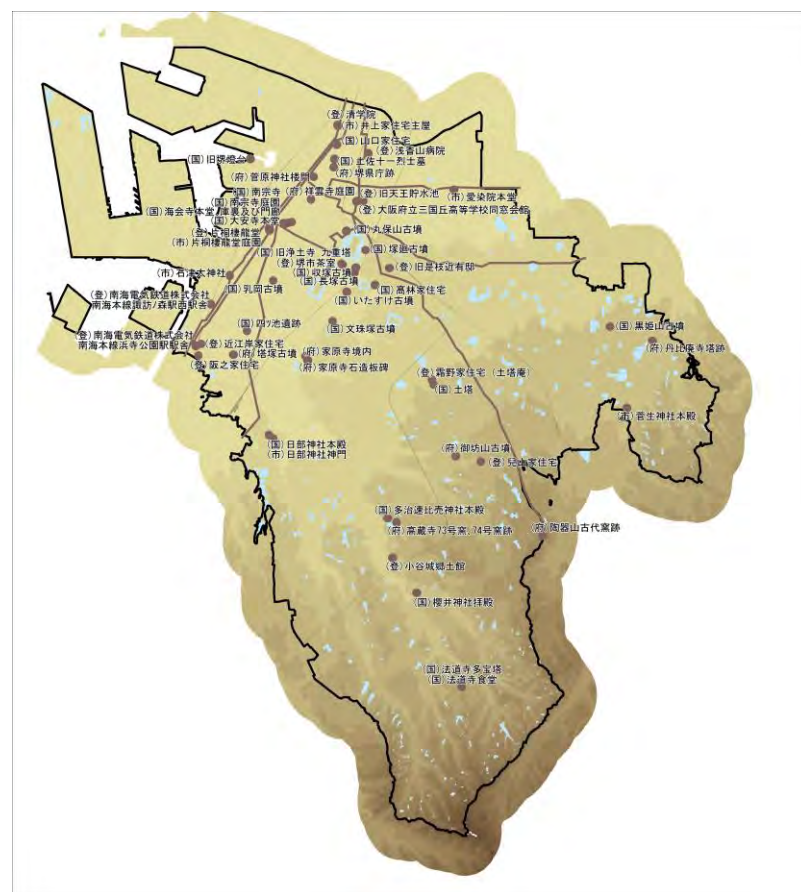
②歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地（ハード）

指定等文化財：重要文化財(山口家住宅など)、史跡(いたすけ古墳など)、名勝(南宗寺庭園など)
 指定等以外の文化財：社寺建築、近代和風建築、近代化遺産、古墳など

⇒上記①および②が一体となって形成された良好な市街地の環境を堺市の歴史的風致として定義する。



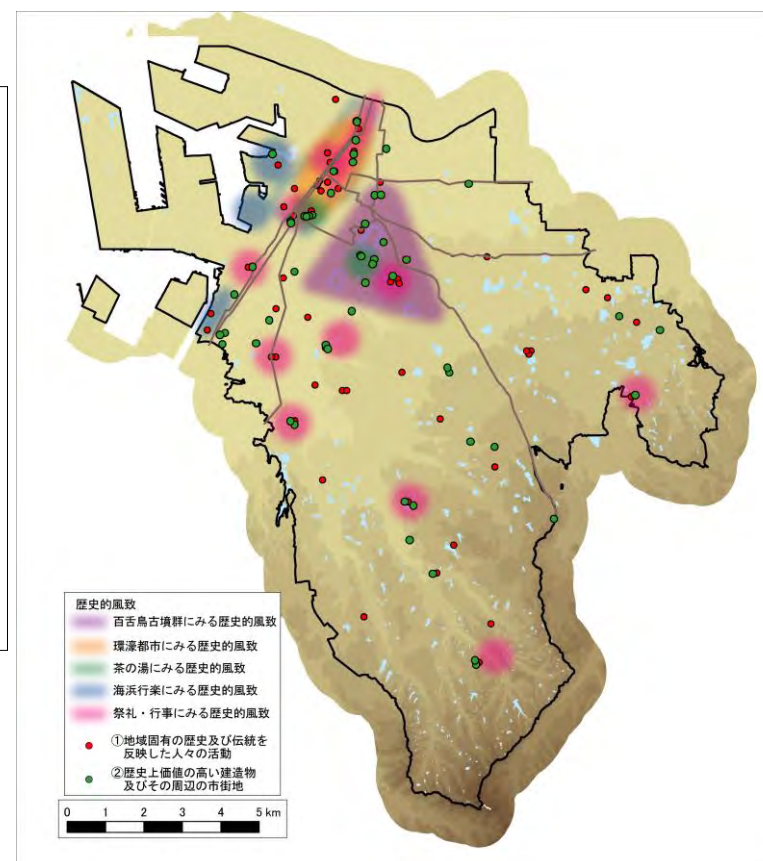
①地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動



②歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地

2. 堺市における歴史的風致

- (1) 百舌鳥古墳群にみる歴史的風致
- (2) 環濠都市にみる歴史的風致
- (3) 茶の湯にみる歴史的風致
- (4) 海濱行楽にみる歴史的風致
- (5) 祭礼・行事にみる歴史的風致



歴史的風致	主な事例		地域
	①地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動	②歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地	
(1) 百舌鳥古墳群にみる歴史的風致	百舌鳥古墳群の周遊	百舌鳥古墳群	百舌鳥古墳群及び周辺
(2) 環濠都市にみる歴史的風致	刃物製造「堺打刃物」、鉄砲鍛冶 線香製造	元和の町割、鉄砲鍛冶屋敷(市指定)、町家等 元和の町割、町家等	環濠都市 環濠都市
(3) 茶の湯にみる歴史的風致	茶の湯、和菓子	南宗寺庭園(国指定)、伸庵(登録)、黄庵(登録)、椿の井戸	環濠都市 百舌鳥古墳群及び周辺
(4) 海濱行楽にみる歴史的風致	海濱行楽	浜寺公園、大浜公園、鉄道(阪堺電気軌道他)、浜寺公園駅舎(登録)、旧堺燈台(国指定)、堺旧港	浜寺公園及び周辺 堺旧港及び周辺
(5) 祭礼・行事にみる歴史的風致	神輿渡御祭り「住吉のお渡り」、荒和大祓神事	宿院頓宮、元和の町割、紀州街道	環濠都市
	秋季大祭(だんじり)	菅生神社本殿(市指定)	菅生神社周辺
	秋季例大祭(だんじり)	大鳥神社、熊野街道	大鳥神社周辺
	秋季例大祭「月見祭」(ふとん太鼓)	百舌鳥八幡宮、西高野街道、百舌鳥古墳群	百舌鳥古墳群及び周辺
	上神谷のこおどり(国選択・府指定)	櫻井神社拝殿(国宝)、法道寺食堂(国指定)、法道寺多宝塔(国指定)	上神谷周辺
	やっさいほっさい	石津太神社北本殿・南本殿・拝殿・一の鳥居・二の鳥居(市指定)	石津太神社周辺

3. 市域における歴史的風致の維持及び向上に関する基本的考え方

進取の気風と地域の人々の力によって形成されてきた堺市における歴史的風致の特性を踏まえ、その維持及び向上にあたっては、市民や行政等が連携しながら、歴史的資源の保全・維持に努め、またそれらを積極的に活用することにより、歴史、文化、自然の豊かな都市の形成、物や人が集まる拠点としての賑わいの再生、伝統文化・伝統産業を保存し、継承することを基本方針とする。

4. 重点区域の設定

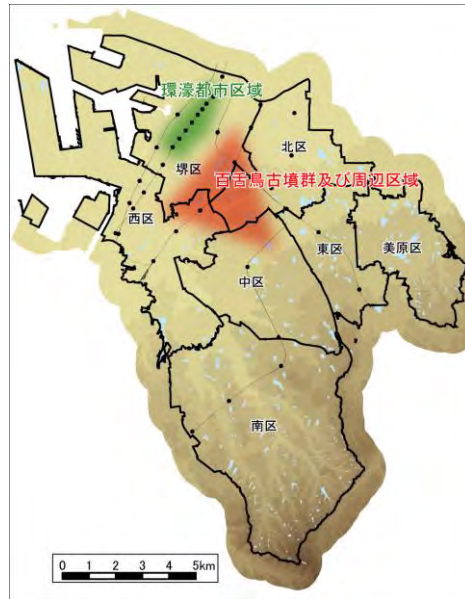
①重点区域の考え方

堺市において、重点的に歴史的風致の維持及び向上に取り組む区域を、「重点区域」に設定する。

重点区域における歴史的風致を維持向上することにより、堺市全体や重点区域周辺の伝統や文化の継承、活性化につなげていくことが求められる。そこで、「堺市の歴史的風致の重なり」「歴史文化に関連した重点施策の対象区域の重なり」を勘案し、「百舌鳥古墳群及び周辺区域」と「環濠都市区域」を重点区域として設定した。

歴史的風致の維持及び向上に関する基本方針(骨子)

- ①歴史的なまちなみの保全・継承・活用
- ②堺固有の歴史文化資源の保存・継承・活用
- ③伝統文化・伝統産業の保存・継承・活用



市域における重点区域の位置

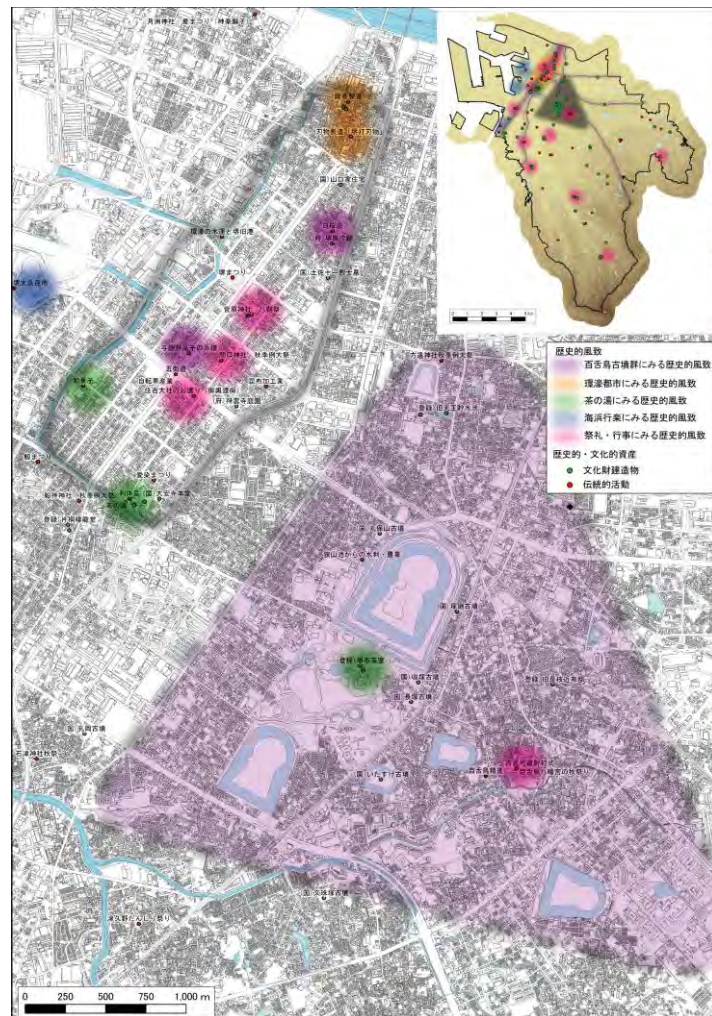
■百舌鳥古墳群及び周辺区域の設定

百舌鳥古墳群を造営した地域は、古くから「百舌鳥」や「百舌鳥耳原」と記されている。日本書紀に仁徳天皇の陵を「百舌鳥陵」と、履中天皇の陵を「百舌鳥耳原陵」と記している。さらに、延喜式に、仁徳天皇の陵を百舌鳥耳原中陵、履中天皇の陵を百舌鳥耳原南陵、反正天皇の陵を百舌鳥耳原北陵と記しており、三陵が位置する周辺の地域を「百舌鳥耳原」と呼称している。

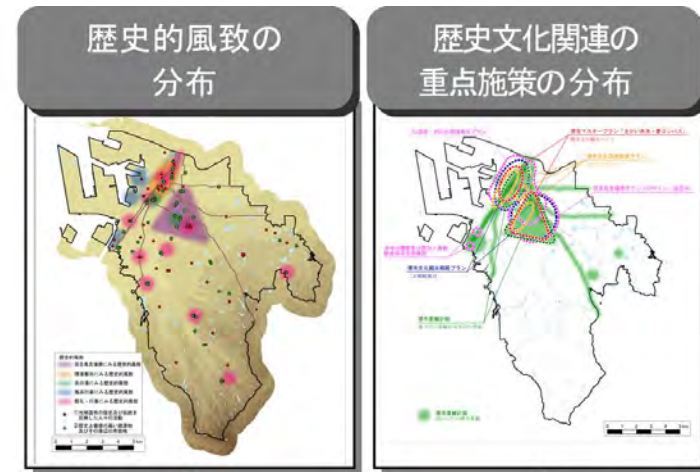
この三陵が造営された「百舌鳥耳原」とよぶ地域は、百舌鳥川北岸および南岸の丘陵にあたる。百舌鳥古墳群において現存する47基の古墳は、この丘陵上に位置しており、これらの古墳が分布する範囲を重点区域とする。

■環濠都市区域の設定

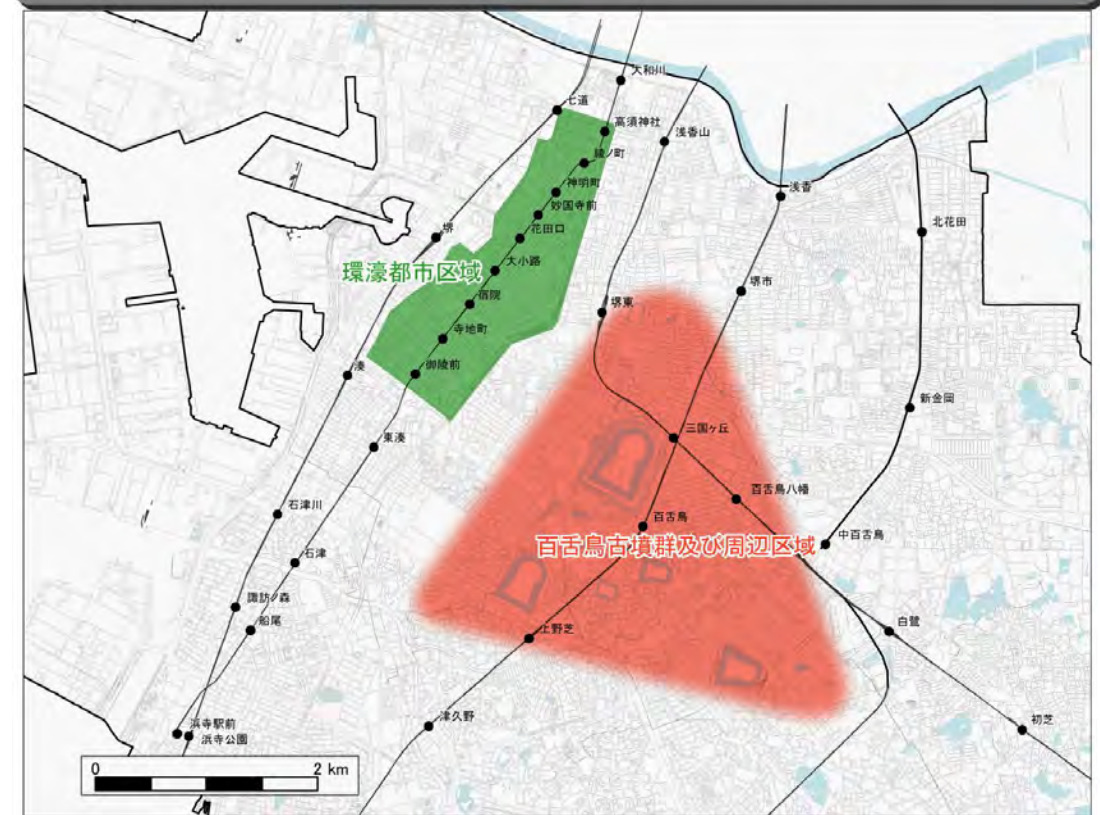
中世に南蛮貿易の拠点として栄え、豪商らによる自治が行われた環濠都市は、大坂夏の陣による荒廃後、幕府によって再整備が進められた。現在も、直交する近世の大小路と大道(紀州街道)に、各々並行する一区画南北60間、東西19~23間の長方形の基盤型の区画が残る。この近世の環濠都市区域全体を重点区域とする。



歴史的風致の分布



重点的に歴史的風致の維持及び向上に取り組むべき区域



重点区域の考え方

重点区域の歴史的風致の維持向上にあたっての課題

○ソフト面の課題

①伝統的活動の継承と再生

堺の歴史や文化を具現化する祭礼や産業などの伝統的活動に関して、持続可能な観光等他政策と連携したシステムの構築や担い手・後継者育成の検討が必要。

②文化財の保存・活用制度の効果的な活用

計画策定、事業実施等に関して、各主体が歴史・文化を生かしたまちづくりの目標像を共有し、多様な制度の活用や景観施策などの活用が必要。

○ハード面の課題

①建造物の保全・活用

古墳、近現代に建築されたものも含めた歴史的建造物など、継承されてきた重要な建造物の保全・活用施策の積極的な推進が必要。

②文化・観光の拠点整備と回遊性の向上

歴史的・文化的資産のネットワーク化、周遊の核となる施設の整備が必要。